

社会保険労務士からの三方一両得だより

令和4年6月20日 第153号

「異界」を見に行ってきました

栃木県立博物館で展示されていた、「異界～あなたとふいにつながるせかい～」を見に行ってきました。

企画展の概要を読んで陰陽師とか浦島太郎などの不思議な話に関する展示かと予想して行ったのですが、それらはほんの一部でした。大半は栃木県内の古くからの魔除けなどの展示であり、風土博物館に近いような印象です。似たようなものが繰り返し出てくることもあって、観



ポスターのデザインは上手です。

覧するのに疲れてしまい、個人的には少し期待外れな結果となってしまいました。

ただ、子供の着物の背中に刺繍で記号を描いたりする「背守り」という風習については初めて知りました。時代劇の装束を見る時に疑問に思っていたことが少し解消されましたので、これは思いもよらぬ収穫でした。(6月15日終了)

企画展脇の小部屋で展示されていた自然系テーマ展では、ダンゴムシが取り上げられていました。この記事を書いている今となってはすっかり忘れてしまったのですが、現地では「へー」と思った説明がいくつもあったことだけは覚えています。真ん中に据えられた大きなダンゴムシの模型もなかなか見ごたえがありました。(8月21日まで)



よくできています。



庭のビワの木が実をつけました。

我が家の畑

五月下旬からダイコンがグングンと成長し、無事に収穫することができました。種を待ければ、確実に芽を出しますし、管理は間引きを一回するだけで本当に優秀な野菜です。

庭のキュウリ、トマト、シソ、畑のサツマイモは順調に成長中。さらにジャガイモは例年よりもしっかりとした株に育ちました。昨年までは、今頃は害虫にぼこぼこに食い荒らされて枯れ始めていたのですが、今年はなぜか害虫が少なく、大きいものが収穫できそうです。

若者はこんな会社で働きたいようです

今いるスタッフは頑張ってくれているけれど、業務の継承のために若手スタッフを採用したいと思っても、全く応募がなくて困っている。そんな悩みはどここの会社も同じように抱えているのではないのでしょうか。

今の若者がどんな会社で働きたいと思っているのか、大学生の意識調査の結果を見ましょう。



株式会社マイナビが1979年卒より毎年実施している「マイナビ 2023年卒大学生就職意識調査」の結果のうち、主要な項目は次のとおりとなりました。

就職観はこれまでと同様に「楽しく働きたい」が最多で37.6%（対前年2.8pt増）となりました。2020年卒以降、減少傾向でしたが、3年ぶりに上昇に転じました。

経済状況の悪化や大きな災害等が起きた際は同項目の割合が減少する傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の観点で見ると、昨年を通してワクチン接種が進んだ他、

各種行動制限の緩和などが進みました。そうした状況のなか、学生にとっても社会に対する不安が軽減されたことが、3年ぶりの数値上昇の背景となった可能性も考えられます。

企業を選択する場合にどのような企業がよいか（あてはまると思う項目を2つまで選択）を聞いたところ、「安定している」が43.9%（対前年1.1pt増）と最多となりました。「自分のやりたい仕事（職種）ができる」が32.8%で前年比1.8pt減、「給料がよい」が19.1%で前年1.6pt増となり、前年同様トップ3の項目となった「給料がよい」は16年卒調査以来毎年上昇していましたが、前年22年年卒で2.3pt減少。今年は1.6pt増加となりました。

行きたくない会社（あてはまる項目を2つ選択）を聞いたところ、「ノルマのきつそうな会社」が前年に続き最多で37.4%（対前年1.6pt増）、次いで「暗い雰囲気

の会社」で27.1%（対前年1.8pt減）となりました。上位2項目は2008年卒以来変わっていませんが、2022年卒で上位3項目に浮上してきた「転勤の多い会社」が今年も3位となり、前年比1.7pt増の26.6%となりました。